



日邦産業株式会社

(証券コード : 9913)

2023年3月期 第1四半期 決算補足資料

2022年 8月3日

代表取締役社長

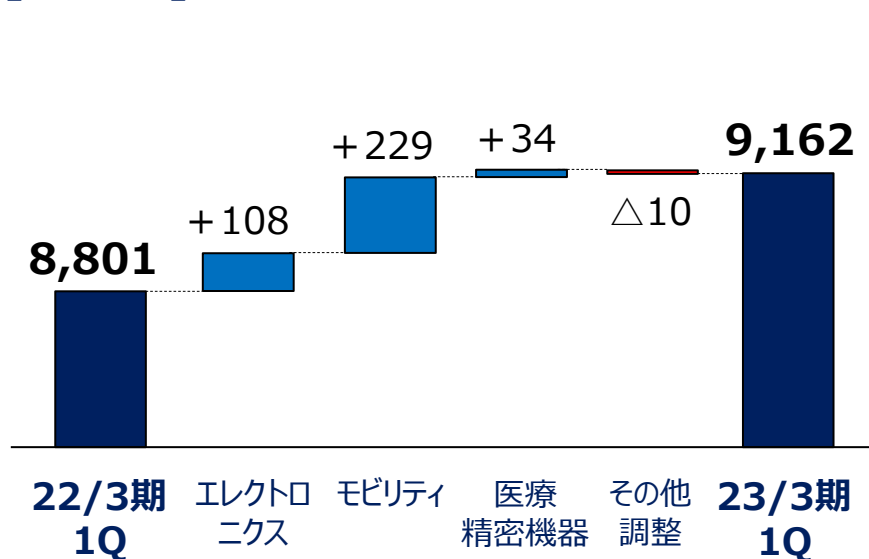
岩佐 恭知

23/3期 1Q 連結業績 (1)

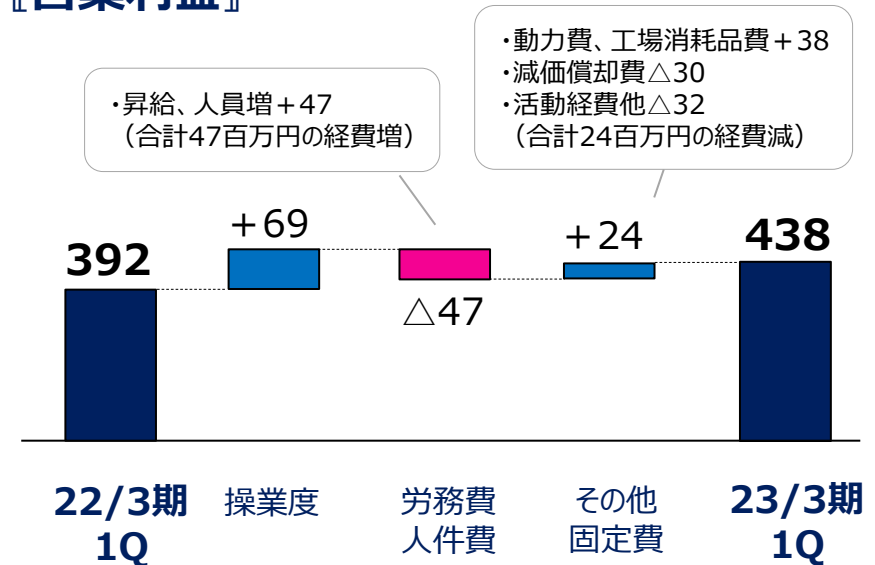
(単位：百万円)

科目	22/3期 1Q	23/3期 1Q	前年同期比	増減額
売上高	8,801	9,162	104%	+ 361
営業利益	392	438	112%	+ 46
経常利益	411	316	77%	△95
四半期純利益	286	136	48%	△150

〔売上高〕

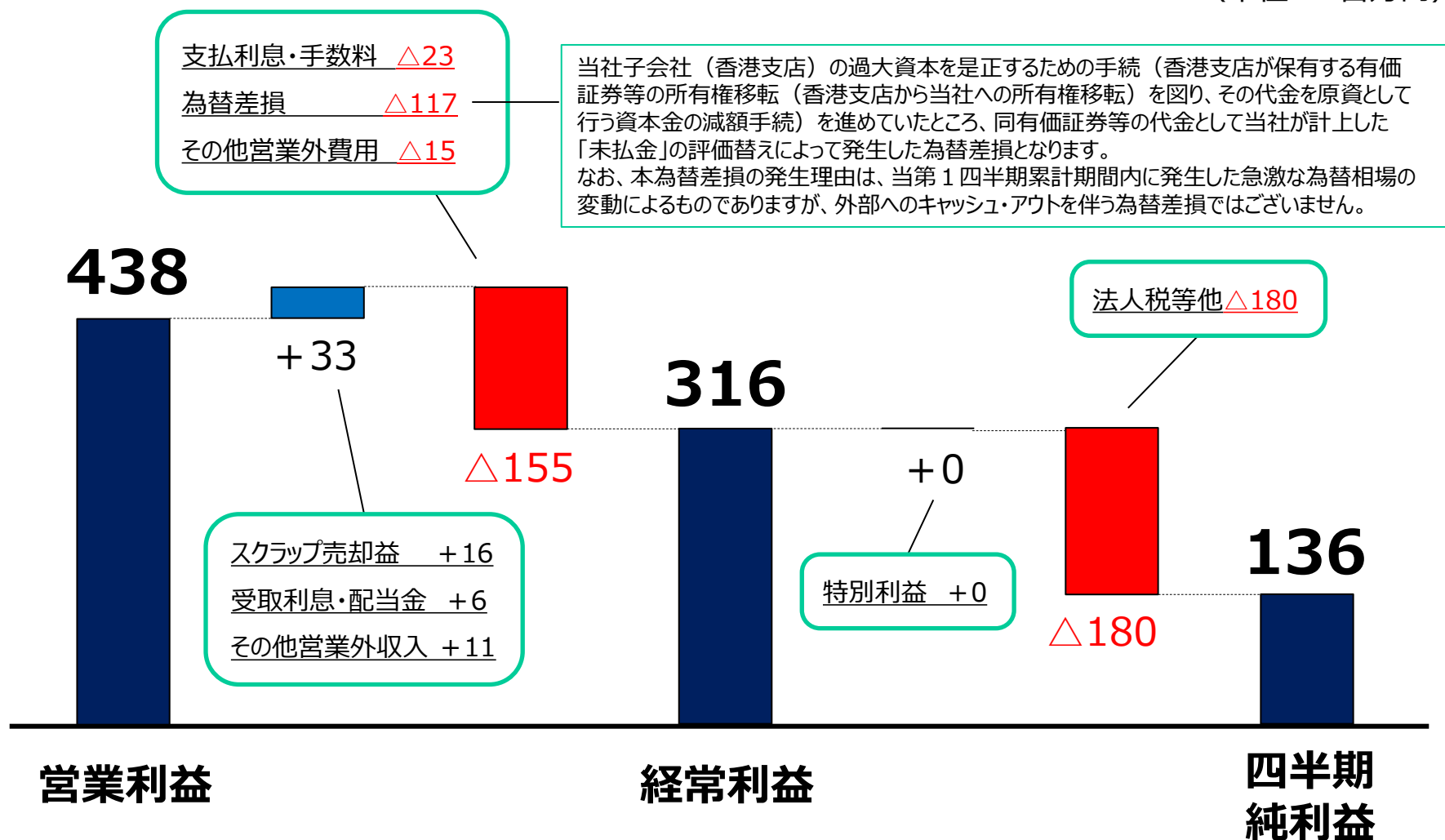


〔営業利益〕



23/3期 1Q 連結業績 (2)

(単位 : 百万円)



23/3期 通期業績予想



～2Qから3Q前半のマイナス影響を考慮した上で、通期業績予想を据え置いております。～

(単位：百万円)

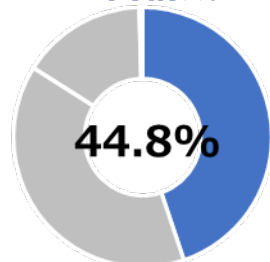
科目	23/3期 1Q	23/3期 通期予想	1Q 進捗率	通期業績予想と年間配当金について
売上高	9,162	37,500	24.4%	1. 通期業績予想 2Qから3Q前半にかけて、以下の懸念リスクが連結業績に一定のマイナス影響を及ぼすと見込んでおり、これを考慮した上で、2022年5月13日に公表しました通期業績予想を据え置いております。 ①半導体供給不足の悪化 ②新型コロナウイルス感染症の拡大によるロックダウン ③資源価格・動力費の高騰の長期化又は悪化 ④急激な為替相場の変動 ⑤物流費の高騰の長期化又は悪化 2. 年間配当予想 通期業績予想を据え置くことから、年間配当金「1株＝28円」につきましても、据え置いております。 ※本通期業績予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいた予想値であり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。通期業績予想の見通しに修正が必要と判断される場合は、改めて公表させていただきます。
営業利益	438	1,550	28.3%	
経常利益	316	1,450	21.8%	
当期純利益	136	1,050	13.0%	
年間配当金	—	1株当たり 28円		

セグメント別業績（エレクトロニクス）



売上高構成比

（単位：百万円）



増収

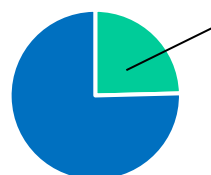
減益

	22/3期 1Q累計	23/3期 1Q累計	前年同期比	増減額
売上高	4,031	4,139	103%	+108
営業利益	331	306	93%	△25

1Qの業績概況

- ・ 旺盛な半導体需要を背景にして、沖縄工場のウエハー研磨用キャリアの受注は好調に推移。
- ・ 配線板材料とベトナム工場のドライフィルム事業の受注は、顧客の増産に支えられ堅調に推移。
- ・ 一方、スマートフォン関連部材の受注が調整局面に入ったこと、中国ロックダウンによるサプライチェーンの途絶の影響を受ける中で推移。

売上高の進捗



1Q進捗
24.6%

	22/3期	23/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	16,576	16,800	101%	+224
営業利益	1,324	1,200	91%	△124

通期の見通し

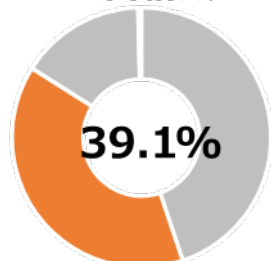
- ・ 配線板材料やウエハー研磨用キャリア、ベトナム工場のドライフィルム事業の受注は、引き続き堅調に推移する見通し。
- ・ スマートフォン関連部材の受注は、調整局面が長引く可能性もあり、先行き不透明。
- ・ メーカー機能（スリット加工、ウエハー研磨用キャリア、高機能接着剤）を強化するための先行投資と新規開拓にかかる活動費の増加を見込む。

セグメント別業績（モビリティ）



売上高構成比

（単位：百万円）



増収

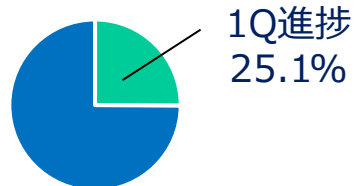
増益

	22/3期 1Q累計	23/3期 1Q累計	前年同期比	増減額
売上高	3,391	3,620	107%	+ 229
営業利益	307	378	123%	+ 71

1Qの業績概況

- ・ 稲沢工場のコイル部品および国内の自動車関連部品の受注は、半導体供給不足による顧客の減産影響を受け減少。
- ・ 一方、タイ（バンコク）工場やインドネシア工場などのアセアン主力工場におけるパワートレイン系部品の受注は好調に推移。

売上高の進捗



1Q進捗
25.1%

	22/3期	23/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	13,092	14,400	110%	+ 1,308
営業利益	1,042	1,250	120%	+ 208

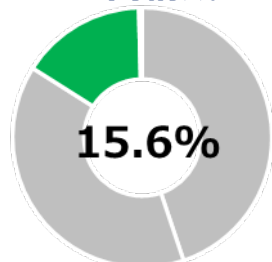
通期の見通し

- ・ タイ（バンコク）工場とインドネシア工場の受注は、継続して好調に推移する見通し。
- ・ 稲沢工場のコイル部品の受注は、半導体供給不足の影響を受けるものの、通期単位では、前年並みで推移する見通し。
- ・ 収益性の向上を目的とした「コスト競争力の強化」活動を継続。

セグメント別業績（医療・精密機器）



売上高構成比



増収

減益

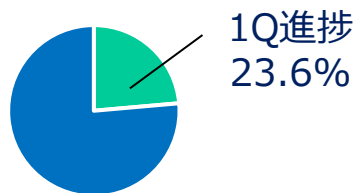
（単位：百万円）

	22/3期 1Q累計	23/3期 1Q累計	前年同期比	増減額
売上高	1,405	1,439	102%	+ 34
営業利益	△12	△ 14	—	△2

1Qの業績概況

- 医療機器部品の受注は、タイ（コラート）工場における受託生産が堅調に推移。
- プリンター関連部品の受注は、半導体・電子部品の供給不足による顧客の生産計画の下振れが続き、タイ（コラート）工場とベトナム工場の受注計画が大幅に減少したことから、黒字転換を図ることができなかった。

売上高の進捗



	22/3期	23/3期(見通し)	前年比	増減額
売上高	5,941	6,100	103%	+ 159
営業利益	△17	100	—	+117

通期の見通し

- タイ（コラート）工場の医療機器部品の受注は、引き続き堅調に推移する見通し。
- 医療機器部品の国内生産体制を構築するための先行投資と許認可取得に向けた活動を開始。（本格量産は、2025年度を予定）
- プリンター関連部品の受注は、3Q後半以降に顧客の生産計画が改善する見込みも先行き不透明。



参考資料

23/3期 1Q 連結貸借対照表



(単位：百万円)

科目	22/3期	23/3期 1Q	増減額
流動資産	15,582	16,394	+812
現預金	4,580	4,781	+200
受取手形及び 売掛金等	7,576	7,400	△176
たな卸資産	2,811	3,295	+483
その他	612	917	+304
固定資産	10,505	11,140	+635
有形固定資産	7,452	7,723	+270
無形固定資産	115	203	+87
投資その他の 資産	2,937	3,213	+276
資産合計	26,087	27,535	+1,447

科目	22/3期	23/3期 1Q	増減額
流動負債	12,586	13,063	+476
支払手形及び 買掛金	7,415	7,916	+501
短期借入金等	3,114	2,962	△151
その他	2,057	2,183	+125
固定負債	3,135	3,436	+300
長期借入金	526	687	+160
その他	2,609	2,749	+140
負債合計	15,722	16,500	+777
資本金	3,137	3,137	-
資本剰余金、利益剰 余金及び自己株式	6,526	6,462	△63
その他の包括利益 累計額	699	1,433	+734
非支配株主持分	1	1	△0
純資産合計	10,364	11,035	+670
負債・純資産合計	26,087	27,535	+1,447

日邦産業株式会社

経営企画部 水口、藤浪

電話 : 052-218-3161
E-Mail : ir@nip.co.jp
HPアドレス : <https://www.nip.co.jp/>

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありませんので、将来における弊社の業績が、現在の弊社の将来予想値と異なる結果になることがあることを認識された上で、ご利用ください。

また、業績等に関する記述につきましても信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、弊社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、弊社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

本資料における将来の業績予想に使用した為替換算レートは、1米ドル＝130円、1タイバーツ＝3.6円で計算しています。